

阪神

阪神支局

☎0798・67・2155

FAX 67・2156

〒663・8204

西宮市高松町5-39

なでしこビル7階

ホームページ

<http://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/>

電子メール

hanshin@yomiuri.com

三田支局

☎079・564・6613

FAX 564・6616

〒669・1529

三田市中央町4-5

三田ビル6階

尼崎06・6482・2011

伊丹072・781・3010

宝塚0797・74・7077

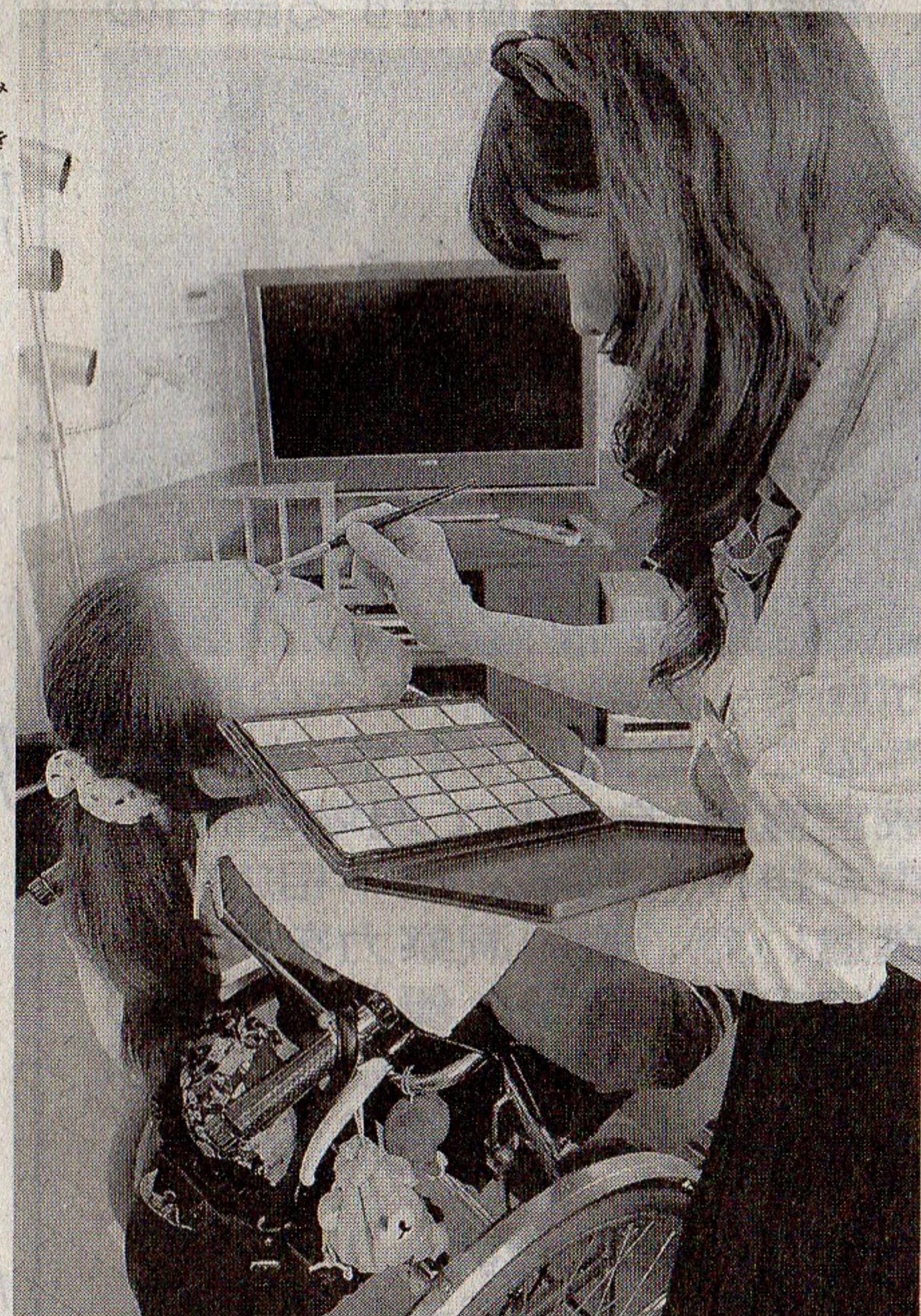
川西072・757・9212

笑顔を届ける
メイクセラピー

宝塚の障害者施設

化粧やネイルアートを施すことで、気持ちを元気にする「メイクセラピー」が、宝塚市美幸町の障害者支援施設「はんしん自立の家」で行われた。写真。

芦屋市のメイクセラピス



ト酒造志保さん(51)らでつくるボランティアグループ

「shin・shinフレンド倶楽部」が、同所で毎

月1回開いている。今月は19日にあり、車いすの入所者女性6人が参加。スタッフが「今日はどんな色にしようか」などと話しかけながら、明るい色の口紅やマニキュアをつけると、女性たちは満面の笑みを見せた。

ピンク色のマニキュアを塗ってもらった志保さん(50)は「いつもよりうきうきした気分。普段は化粧やマニキュアをしないので、この日が楽しみ」と話していた。

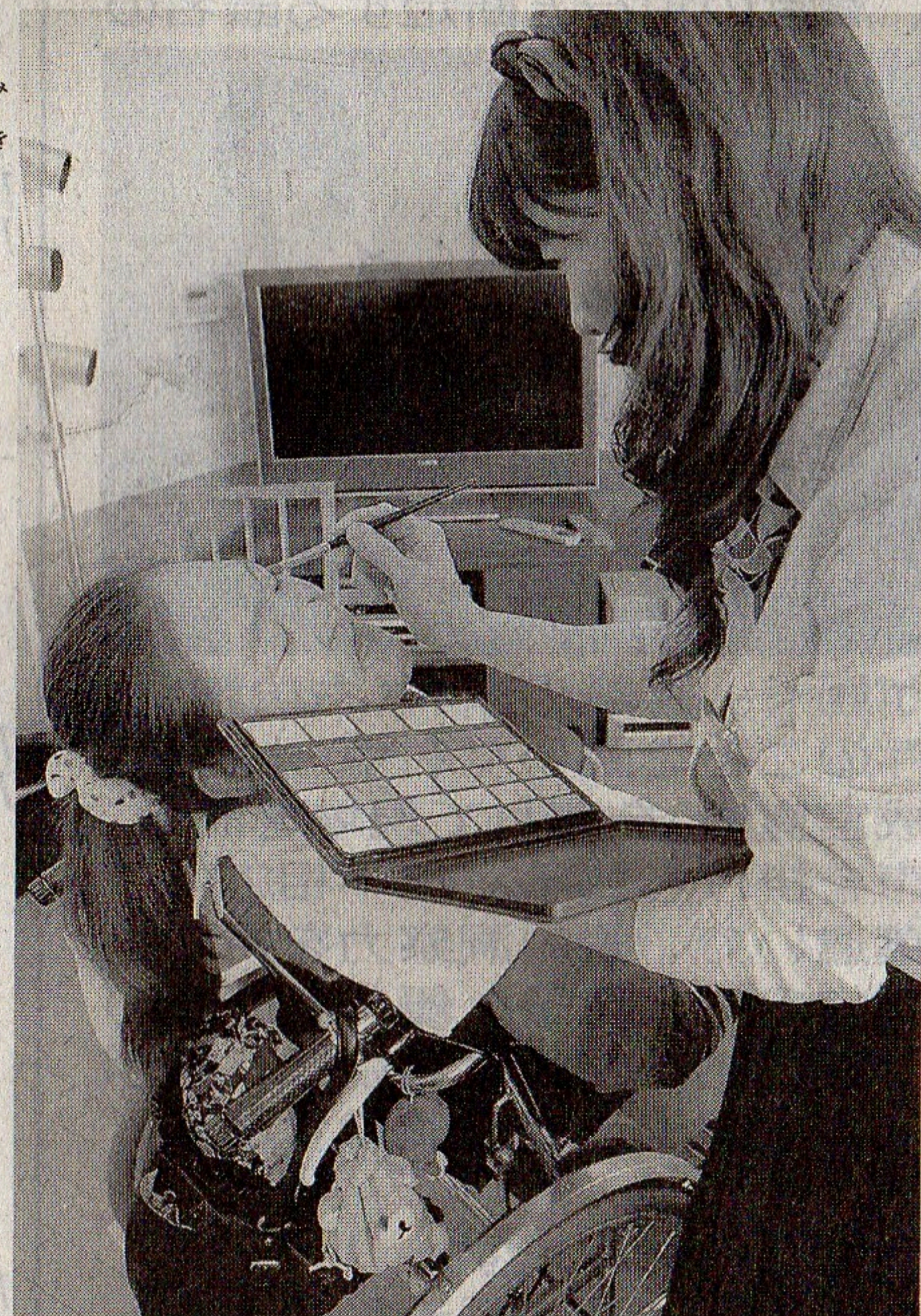
酒造さんは阪神大震災でのボランティアを機にメイクセラピーの勉強を始め、現在は同セラピー講座も開いている。「相手の気持ちを大切に、元気になるってもらうのがメイクセラピー。利用者の笑顔が力になります」と話していた。

笑顔を届ける メイクセラピー

宝塚の障害者施設

化粧やネイルアートを施すことで、気持ちを元気にする「メイクセラピー」が、宝塚市美幸町の障害者支援施設「はんしん自立の家」で行われた。写真。

芦屋市のメイクセラピス



ト酒造志保さん(51)らでつくるボランティアグループ

「shin・shinフレンド倶楽部」が、同所で毎

月1回開いている。今月は19日にあり、車いすの入所者女性6人が参加。スタッフが「今日はどんな色にしようか」などと話しかけながら、明るい色の口紅やマニキュアをつけると、女性たちは満面の笑みを見せた。

ピンク色のマニキュアを塗ってもらった志保さん(50)は「いつもよりうきうきした気分。普段は化粧やマニキュアをしないので、この日が楽しみ」と話していた。

酒造さんは阪神大震災でのボランティアを機にメイクセラピーの勉強を始め、現在は同セラピー講座も開いている。「相手の気持ちをお大切にして、元気になるってもらうのがメイクセラピー。利用者の笑顔が力になります」と話していた。

阪神

阪神支局

0798・67・2155

FAX 67・2156

〒663・8204

西宮市高松町5-39

なでしこビル7階

ホームページ

<http://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/>

電子メール

hanshin@yomiuri.com

三田支局

079・564・6613

FAX 564・6616

〒669・1529

三田市中央町4-5

三田ビル6階

尼崎06・6482・2011

伊丹072・781・3010

宝塚0797・74・7077

川西072・757・9212